

小学校 第1学年 道徳科 学習指導案

東京都板橋区立北野小学校
教諭 山中 麻衣

主題名 じぶんで きめた ことを やる

教材名 おふろばそうじ（1時間）

内容項目 A 希望と勇気、努力と強い意志

本時のねらい お風呂場掃除に対するあきらの姿勢について考えることをとおして、自分のやるべき仕事や勉強などに気づき、それらをすすんで行おうとする判断力を育てる。

指導時期 7月上旬

1年生の児童にとってお手伝いをすることは楽しいことであり、やりたい気持ちをもっている児童はとて多い。しかし飽きてしまったり、毎日続けることの難しさを感じたりして、くじけてしまう児童も多いだろう。本教材をとおして、仕事やお手伝いをやり遂げたときの達成感や充実感を感じさせ、自らの役割をしっかりと果たせるように指導していく必要がある。

指導者用デジタル教材活用の意図・目的

1 二次元コードから「きょうざいの かいせつ」を参照する。

範読後、内容や登場人物について確認をすることで、教材内容への理解を深めさせる。

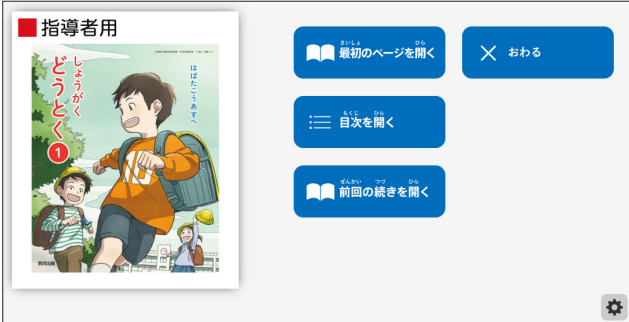
2 「心情メーター」の活用

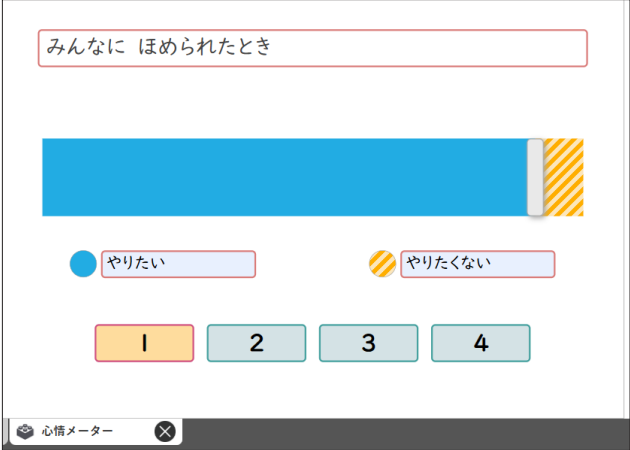
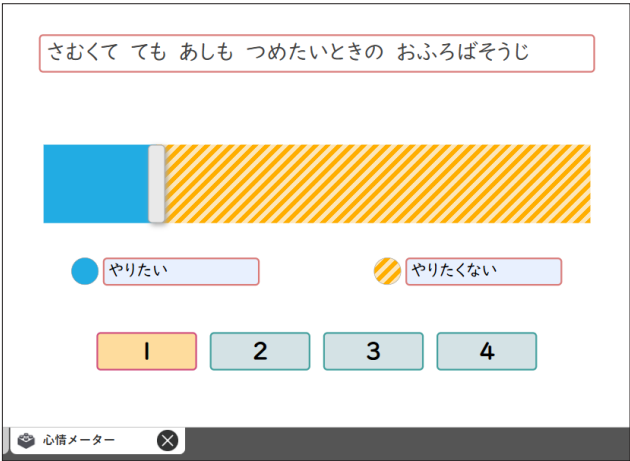
あきらは家族に褒められたことでこれからもお風呂場掃除をがんばろう、という気持ちになっている。冬の寒い日でもお風呂場掃除ができるか心情メーターを使って問うことで、児童がその大変さや困難さをしっかりと考えられるようにしていきたい。

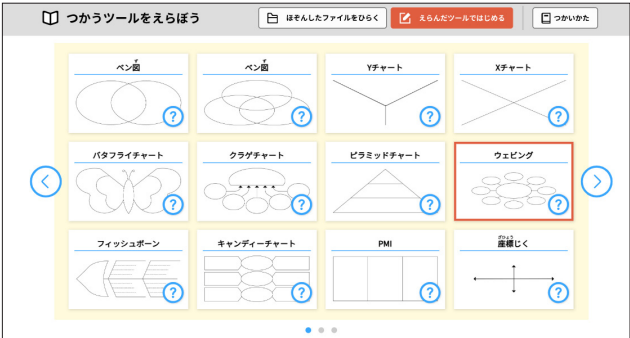
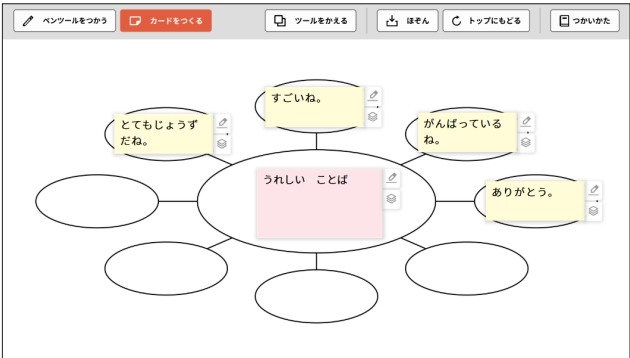
3 「思考ツール」の活用

あきらは家庭で褒められた経験をもとに、これからもがんばりたいと意欲をもつようになっていく。授業では家庭の仕事だけでなく、学校での仕事についても考えさせていく。思考ツールの「ウェビング」を使って、「うれしい言葉」をたくさんあげることで、児童同士が日常的に「うれしい言葉」を使うことができるようにしていきたい。

本時の展開

	活動内容	デジタル教材の活用
導入	「指導者用デジタル教材」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。	

	活動内容	デジタル教材の活用
導入	1. 自分のやるべき仕事について考える。 T：みなさんは、学校やおうちで、どんな仕事をしていますか。 ◎：食事の後にお皿を下げている。 ◎：金魚にエサをあげている。 ◎：妹の面倒をみている。 ◎：給食当番をしている。	
展開	2. 『おふろばそうじ』を読んで、自分のやるべき仕事をする事のよさについて考える。 T：お風呂場掃除を褒められたとき、あきはどのような気持ちだったのでしょうか。 ◎：うれしい。 ◎：頼りにされている。 ◎：やってよかった。 ◎：次もがんばろう。 T：どうしてあきは、お風呂場掃除をつづけられるのでしょうか。 ◎：お家の人にやるように言われているから。 ◎：おうちの人褒めてくれるから。 ◎：みんなのためにがんばりたいと思っているから。 ◎：自分の仕事としてがんばろうと思っているから。	●二次元コードの「きょうざいの かいせつ」を参照する。  「心情メーター」を立ち上げ、問いについて考える。  

	活動内容	デジタル教材の活用
展開	3. 自分のやるべき仕事をする事の大切さについて、自分のこととして考える。 T：これから自分の仕事をどのような気持ちでやっていきたいですか。 C：もっともっと褒められるように続けていきたい。 C：おうちの人に言われなくても宿題に取り組みたい。 C：自分に任された仕事なので、最後までやりぬこう。	● ツールから「ウェビング」を立ち上げ、うれしい言葉を考える。  
まとめ	4. 本時の学習を振り返る。 T：今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	

指導者用デジタル教材を活用したことで得られた効果

- 導入の場面で「きょうざいの かいせつ」を確認することで、さし絵をもとに話の内容を振り返ることができる。
- 「心情メーター」の活用では、お風呂場掃除をするにあたり、冬の寒い日や水の冷たい時のことを想像させ、大変さを実感させたい。そのうえで家族に褒められ、毎日続けていきたいと意気込む主人公の気持ちを考えさせていく。心情メーターを比較して活用していくことで、あきらのように毎日続けていきたいという意欲をもつことにつながっていくことができる。
- 「思考ツール」のウェビングの活用では、どんなことを言われたいか児童自身に考えさせていく。たくさんの「うれしい言葉」をあげることで今後の学校生活の中でも友達どうしで自然と使うことにつながっていくことができる。